

### 堺第7-3区共生の森・草原班活動報告（4月21日）



4月に入って天候不順であった。当日未明まであいにくの雨。午前中は、雲が低く風も強く肌寒い天気であった。おかげかどうか、午前中の野鳥の調査もこれと言った「収穫」は無かったようだ。お目当てのチュウヒは飛ばなかった。ウグイス、セッカ、などがよく啼いていた。

午後から、いよいよ草原班の作業が始まった。前月に引き続き、オギの移植である。

総勢9名（野鳥の会5名、NPO法人共生の森2名、保全協会2名）。

まず、新たに整地された実験地を見た。すでに重機を入れ、クズも処理されていた。（左側）



右側は、処理前の状況。（4月8日の下見）機械力のすごさを見た！



チヌミ山の南斜面のオギ原、このオギの根茎をスコップや鍬などでまさしく根こそぎに掘り起こす作業である。

このころになると天気も予報通り回復し、晴れ間が広がり暖かかくから少し暑くに。





オギの掘り起し作業中。1時間ほどの作業でした。



掘り起こされたオギ。車に積まれてVWYポンドの実験地へ運ばれる。



実験地にとりあえず配置して。

一つずつ、ていねいに植えていきます。



これも1時間ほどで移植作業は終わりました。1時すぎから始めて3:30ころに作業終了。10m四方の実験地の約半分に約100本のオギを植えました。草原班の作業としては、この日が一番ハードで、つぎからは見守り・外からの侵入植物、特にクズの刈り取りが主な作業になります。

**報告 金谷 薫**

草原班の作業は、毎月第3火曜日です。

今後は、土日開催の森 MORI サンディでも草原班の作業を実施する予定です。